

ロータリーを
実践し



みんなに
豊かな人生を

2013~2014年度 国際ロータリーのテーマ
ロン D.バートン

RI第2510地区 留萌ロータリークラブ

会報

2013 ▶ 2014
WEEKLY REPORT

留萌ロータリークラブ 会長目標 **集中と調和**

会長／中出敏彦 幹事／大嶋孝広

プログラム

●本日

「私の尊敬する先輩ロータリアン」
平井 誠治 会員

会員誕生日

6月9日 平井 誠治

結婚記念日

6月7日 齋藤 清藏
6月8日 ニノ宮清信
6月9日 長谷川哲哉

●次週予定

理事・委員長退任挨拶

No. 2607
第44回 5月25日
No. 2608
第45回 6月4日

出席報告

前例会

会員総数.....41名
出免会員.....8名
出免出席.....8名
基準会員出席.....33名
出席率.....100%

前々々

第42回 5月14日

欠席会員.....12名
内メイクアップ.....6名
修正出席率.....94.28%

例会／毎週水曜 12:15~13:15 留萌産業会館2F

会長報告

1. 今週の日曜日、5月25日に羽幌町にて国際ロータリー第2510地区第1グループIMが開催されます。会員の皆さん、多数の参加をお願いします。
2. 私と対馬会員の知り合いを作治大作戦により、伊達ロータリークラブに紹介を致しました。今回、伊達ロータリークラブに入会したとの連絡がありました。ロータリーの仲間がまた一人増えた事を報告いたします。

例会案内を受領しました。

- ・芦別RCより6月の例会案内を受領しました。
- ・砂川RCより6月の例会案内を受領しました。
- ・第24回日本ロータリー親睦ゴルフ大会北海道大会の開催案内が届いております。回覧致しますので、参加されたい方は幹事まで申し込みください。
- ・国際ロータリー第2510地区2012~2013年度地区要覧が届いております。回覧いたします。

ゲスト 北海道開発局留萌開発建設部

次長 関 新次様

幹事報告

- ・妹背牛RCより5月の例会案内及び会報No.35号から39号を受領しました。
- ・赤平RCより会報No.2586~2589号及び5月の

委員会報告

例会運営委員会

齋藤委員

会長報告にもありましたが、5月25日は第1

グループの I M が羽幌町にて開催されます。バスは産業会館より12時30分出発となっておりますので、バス利用の方は12時20分までに集合してください。バスの中で例会を開催いたします。また、昼食は用意しておりませんので、各自済ませてから乗車してください。楽しい I M になることを期待します。



3分間情報……………

会員研修委員会

阿部委員長

ロータリーの歴史を繙いていくと、先輩たちがロータリーについて話してる意味の根源が見えてくる、そんな経験を一年させていただきました。

今年度もあとひと月、個人的には3分間情報1回が残されるのみになった今思うのは、今起きている新しい情報を新鮮なうちに紹介することは有意義だったと思う反面、自分のためを考えると、歴史を振り返ることをもう少し多くやっておきたかったということです。

先週、ポール・ハリスが初代会長を指名して自分は裏方でロータリークラブを作る役割にまわったことまで話しましたが、本日は奉仕の概念の芽生えまでお話をしたいと思います。

クラブ発足当時多く入会してくる会員の最大の魅力であった「親睦」と「物理的互恵」。これが原因で大きなうねりが生じます。

ドナルド・カーター事件です。フレデリック・ツイードが特許弁護士のドナルドカーターへ入会を勧めた時、「自分たちの利益にこだわって社会的に何もしない団体には将来性も魅力もない。あなたのクラブは何らかの市民に対する奉仕をすべきだと思います」と言って入会を断りました。それまでツイード本人に、そしておそらく当時のロータリアンの誰の中にも無かった発想をぶつけられ軽いショックを受けながらも、ツイードが素晴らしい切替しをします。「新しい考えを持っているのに、なぜ入会して行動を起こそうとしないのですか。入会したら思っている方向に動き出すことも可能なのに。」

この言葉のとおり、ドナルド・カーターは入

会し、定款に加えるべきと自らが考えていた「シカゴ市の最大の利益を推進し、シカゴ市民としての誇りと忠誠心を市民の間に広める。」という条項を提示し「この定款の改正は、われわれが市民に対する奉仕をすることが可能になるように、シカゴ・ロータリークラブの綱領を拡大することを目的としたものである。」と訴えました。この改正案は採用されて、定款・細則の改訂版として翌年1907年に出版されることとなります。

こうして、ロータリークラブに奉仕という概念が芽生えました。このあと、「奉仕」が加わったことでさらに大きな動きにつながっていくわけですが、とてもあと1回の3分間情報では完結できないので、個人的に粛々と消化していきたいと考えております。



ニコニコBOX……………

- ちょっと良い事がありました。 大嶋幹事
- 信金ゴルフコンペでダブルペリアですが優勝しました。少し運が良くなったみたいです。

鈴木会員

前 回 705,600円

今 回 2,000円

累 計 707,600円



プログラム……………

「深川留萌自動車道／幌糠留萌道路について」

留萌開発建設部 次長 関 新次様

日頃より、開発行政にご理解ご協力をいただき誠にありがとうございます。また、今回この様な道路事業の



コマースの場を設けていただき、重ねてお礼申し上げます。

本日はこれまでの深川留萌自動車道の工事状況と、今後の工事状況について少しお話をさせ

ていただく事と、留萌の入り口である元川町交差点の交通安全対策についてお話をさせていただきます。

皆様もご存知の通り、元川町交差点は従前の形からはだいぶ変わってきておりますので、過去の経緯を含めてこの様な形になったかをかいつまんでお話をさせていただきます。

まず、深川留萌自動車道は深川ジャンクションから沼田、北竜ひまわりを経て幌糠、大和田インターまで開通しております。古い話になりますが、元々は平成元年に事業化がされまして、元年から調査が始まり平成4年度に工事に着手しております。深川沼田間が供用開始になったのが平成15年度ですから、工事が始まり11年間の歳月が掛かっております。沼田幌糠間は平成7年に事業に着手し、北竜ひまわりまでが平成16年度、幌糠ICまでが平成18年度の供用開始となりました。それから幌糠ICから大和田ICまでですが、平成12年度に工事に着手し、平成24年度に供用を開始しました。約10km区間ですが、10～12年の歳月がかかっております。地形的に申しますと、北竜ひまわりまではずっと盛土でございますが、峠下などになりますと、山を切る切り盛りをする工事が大和田まで続いております。ここから仮称でございますが、留萌インターチェンジまでの工事、残り4.1kmでございますが、ここの所を重点的に工事している最中でございます。人の流れについてお話をいたしますと、平成25年3月に大和田まで供用開始となりましたが、平成25年7月から札幌までの都市間バスが、直通バスも朝1便、札幌から帰ってくるバスも1便ありますが、これで約25分の短縮となっております。当然、通常の都市間バスも5分程度の時間短縮が図られております。また日本海側で各地でイベントが開催されますが、旭川・札幌からの入り込みが多くなっており、例えば羽幌の甘エビまつりでは昨年度開催の時は、約5～10%の要りこみ客の増加となったそうです。留萌に於いても道路だけではなくではないでしょうが、うまいよるもい市では20%の増加となっており、ゴールデンビーチの入り込み客の10%以上の伸びとなっております。

開通後高規格と平行して233号も走っておりますが、交通量調査の結果、高規格開通前の年と開通年度を比較しますと約1割アップしております。今年もイベント関係などの口こみ等により昨年より多くなる事が予想されます。

それでは、今後どの様に深川留萌自動車道が作られていくのかと申しますと、現在は深川から大和田ICを通過して国道233号で留萌市内に入ってきますが、現在工事を行っているのが留萌トンネルで、全830mございます。皆さんには国道からこのトンネルが見えませんが、皆さんには国道からこのトンネルが見えませんが、国道233号側に橋脚が建設されておりますので、それを見ればだいたいの道路の方向がわかるかもしれません。留萌トンネルを出て、留萌川を仮称ですが留萌大橋（橋長340m）で越えて、そのまま真っすぐに行きますとバンゴベの山すそにぶつかります。そこはトンネルで抜けてバンゴベ川を橋で跳ばします。そして現在、市立病院の山側で工事していますので何となくわかると思いますが、それをそのまま山沿いを通して道道のカモイワ線を高架橋で越えて、仮称ですが留萌ICへとつながります。ですから大和田ICから留萌ICまでは色々なトンネルと橋の工事をする形になっております。

昨年度に市立病院の裏で、東雲改良工事という工事を榎堀口組さんで行いましたが、ここの工事は地盤が殆んど泥炭と言いますか、軟弱地盤が分布しております、ここで行われている工法を紹介します。普通ですとこの様な場所では山を切ったり盛土をするのですが、この様な地盤の悪いところでは、ただ単に盛土をしますと地盤が変形してしまいますので、パーチカルネット工法や安定ネット工法を使用しており、地盤を固めるのに固結工法を使っております。ではなぜここに固結工をするのかと申しますと、この側を平行してJRが走っておりますので、ここの地盤に負荷をかけるとJRの線路に影響を及ぼす可能性があるからでございます。ですから、土にコンクリートを混ぜた杭、パイルを土と混ぜながら固めていく、ここに掛かる重さ

をここで受け止めるという工事を行いました。今年も同様の工事を行っております。このパーチカルドレーン工法とは、この様な軟弱な地盤の粘精度を上げるもので、その水を少しでも排水する仕組みでございます。パイブドレーンといってプラスチックの細い管なのですが、それにより水をくみ上げ、サンドマットと言う、砂のある高さまで盛りあげたもので、過剰間隙水を盛土の外に排水する仕組みでございます。この様にして地盤強度が上がると、ここに盛土が出来るようになります。水を抜くのには時間がかかり、じわじわとやっているのが現状でございます。サンドマットは1.5m位の厚さの砂で下からの水を受け止めて排水するもの、固結工法は土とセメントとを混ぜて固いものにするもので、深さ的には10~30mで、場所場所で深さが変わっています。

次に留萌トンネルですが、全長830mで留萌方面から掘削しております。ここは多くが軟弱な地盤でありまして、昔石炭を採掘していた場所でもありますから地質的にも礫岩、砂岩の石炭混じりで大変脆い性質の地盤でございます。中間層は隈根尻層と言いまして、玄武岩・水中火砕岩で強固な地盤ですが、深川方面の峠下層は礫岩、砂岩の脆い地盤となっております。現在掘っている留萌市側ですが、碎石場の上の方で掘っておりますので皆さんにはあまりわからないと思いますが、現在830m中300mまで掘り進んでおります。このトンネルをどんな施工でしているかと申しますと、このトンネルは横幅12m、縦7m50cmあり、発破をかけて掘削をし、鉄筋のロックボルトを刺して、コンクリートで吹き付けるという工法をとっております。この工法を通常ナトム工法と言いまして、オーストリアで開発された工法で、ニューオーストリアントンネリングメソッドという工法で色々な所で使用されております。施工期間が短く、色々な機械を使わなくて済むという工法です。

次に、元川交差点の安全対策についてお話をさせていただきます。現在、留萌市の出入口となっている元川町交差点ですが、皆様もお気づきになっていると思いますが、カラー舗装がな

されております。元々ここは非常に複雑な線形をしており、事故が多く、平成17年にこの交差点を改良する工事にかかりました。改良後も地域住民から更なる改良を求められ、また事故危険区間リスト(事故ゼロプラン)に選定された事から、更なる改善にむけて追加対策を検討致しました。平成23年度に3回の懇談会を開催し、事故対策・交通円滑化にむけての課題と対策の意見交換を致しました。最終的には現在の形になりましたが、ここをロータリーにしようとか、立体交差にしようかなどと色々な意見の中から現在の形に落ち着きました。色々な事故が想定されますが、沿道出入車両と追突する事故に対しては、これは主にモダ石油さんから出てくる車と衝突する事故が多い事から、一つは滑り止め舗装と色を付けてわかりやすくする工法と、中央分離帯を延ばす事で沿道出入口の事故を防ぐ工夫がなされました。次に、交差点付近で停止・減速する車輛への追突事故ですがこれについても滑り止め舗装が有効で、これと西日でも信号がわかりやすく、右折表示を見やすくするためにLED信号に変更を致しました。

三つめは、留萌川の方から入ってくる道路が下り勾配がきつく追突事故をおこす問題には、縦断線形を改良、地盤を削り緩やかな下り車線と致し更に滑り止め舗装をおこないました。また、中央分離帯へ単独で衝突する事故については、留萌川方面からくる車線の交差角度を90度にした事と、停止線間隔を狭くし、交差点をコンパクト化する事で事故の回避を図ることにしました。

これにより現在の形になりました。今後も事故が起こった場合、どの様にして事故が起こったのかを検証し、データを取りながら次の改善にむけて検討するという形で進めております。

以上が本日、皆様に対しての情報提供と申しますか、私どもからのコマースを兼ねてのお話です。本日はお招きいただきありがとうございました。

(第43回 高田会員「我が生い立ち」の続き)

大学卒業後小平町役場に就職し4年間勤務いたしました。その間に一級建築士と行政書士を取得しました。役場勤めでもけっこう時間は作れますし、将来は自分で会社を経営しようと決めておりましたので、4年で役場を退職し、設計事務所勤務の経験もなく開業いたしました。設計事務所だけでなく、関連の資格でも収入を得ようと、今までの国家資格は1回で合格、土地家屋調査士だけは3回目で合格いたしました。

役場退職後、事務所の看板を掲げても設計事務所経営の実績が無いところにはすぐには良い仕事は来ないということで、個人住宅の確認申請手続きが少し、徐々に公共建築物を手がけるようになりました。看板には1級建築士・土地家屋調査士・行政書士を掲げ、何とかそれなりの収入になりました。最盛期には事務所の職員を3名程雇った時期がございました。バブルが崩壊した時に、思い切って効率の良い設計事務所だけに仕事を絞って、それが良い結果となったと思っております。現在は家内と2人ですが、何とか事務所を運営するだけの公共建築物の設計監理業務が続いております。最近では効率の良い仕事だけを受注するように、昨年からは留萌市、苫前町、幌延町、遠別町から受注し、日常の設計は、CADで図面を描き、エクセルで積算と設計書を作成、打ち合わせはアドビのフォトショップなどで画像処理をして提案しております。仕事は設計監理のほかに、耐震診断関係の業務があり、札幌の大手構造事務所と連携して仕事をしています。これで一応私の仕事のお話は終わりました、趣味の話させていただきます。

12年前に私がロータリーの会長を務めた際、留萌市温水プールふるもがオープン。当時かなづちだった私に、水泳を勧めたのが中出会長でございます。今ではマスターズ大会に出場出来るまでになりまして、今年の4月には札幌のサンシャイン大会に出場いたしました。5歳刻みの年齢別で、出場者が少ないせいもありまして、クロール50m、100mはいずれも2位に入賞し、4人で行われたリレーに2回出場し、私以外の

人が早いものですから、いずれも1位になりました。賞状は深川のプール「あえる」に掲示されております。週3つの教室で授業を受講し、その内マスターズ教室は、体から汗が吹き出るほどキツイのでいつまで続くか不安で一杯です。

もう一つの趣味はカラオケで、歌が一本調子といわれ続けてきたのを機会に、昨年から小平カラオケ愛好会にお世話になりました。歌い手は、腹筋・背筋・横隔膜など全身を使ってお歌います。まだ習って1年程度です。水泳の有酸素運動と腹式呼吸は歌に相乗効果があるように思います。現在66歳、世間に迷惑をかけない範囲で自由の枠を広げ、70歳まで仕事と趣味を続け、70歳になった時、自分の思考能力と健康状態を勘案して、次の5年間の人生計画を立てようと考えております。

最後にロータリーですが、ロータリーに入会させていただき、30年が経ちました。平井誠治会員さんには、地区の職業奉仕委員に推薦をいただいたり、また留萌調停協会には清水陸会員さんと一緒に推薦をいただきました。現在は清水会長の後を引き継いでおります。平井会員さんには私の人生に良い経験を与えていただき、大変感謝申し上げます。

私はロータリーの標語「最も奉仕する者、最も報いられる」を信じています。「奉仕する者」と「報いられる者」の因果関係は目には見えないので証明は困難だが、自分がそう思えるかどうかは問題だと思います。良い事があった時にあの時良い事をしたから、この様に良い結果が生じたと解釈する事、そうすると自ずと「感謝」の気持ちが湧いてきます。ロータリーには一度退会届を提出した経験がありますが、もう少しロータリーにはお世話になりたいので、今後ともお付き合いの程、よろしく願います。

つたない私の人生話を聞いていただき、ありがとうございました。

第44回 5月25日(日) 天候/曇

No. 2607

第44回 5月25日

●本日 移動例会「IM」(羽幌町)

会員誕生日

5月30日 山本 譲二

6月1日 西谷 恭治

配偶者誕生日

6月3日 佐々木留美子



会長報告.....

1. 留萌市海水浴場クリーン作戦実行委員会より、委員会開催の案内が届いております。担当委員会にお渡しいたします。



プログラム.....

「国際ロータリー第2510地区 第1グループIM」

会場/羽幌温泉サンセットプラザ ホストクラブ/羽幌ロータリークラブ

〈式次第〉

13:30 登録開始	本年度ガバナー補佐へ記念品贈呈
14:00 開会・点鐘	直前ガバナー補佐(留萌RC)
R I 2510地区第1 Gガバナー補佐	清水 陸様
茶谷 恵一	16:00 閉会・点鐘
国歌/ロータリーソング「奉仕の理想」斉唱	R I 2510地区ガバナー補佐
四つのテスト唱和	茶谷 恵一
妹背牛RC会長 大崎 公介様	諸事お知らせ SAA 實藤 吉信
歓迎の言葉 羽幌RC会長 木田 勝彦	16:15 懇親会・乾杯
来賓/クラブ紹介 ガバナー補佐挨拶	留萌RC会長 中出 敏彦様
R I 2510地区第1 Gガバナー補佐	17:30 散会・閉乾杯
茶谷 恵一	深川RC会長 長谷川幸央様
ガバナー挨拶	= ご 来 賓 =
R I 2510地区ガバナー 安孫子建夫様	国際ロータリー第2510地区ガバナー
14:30 講演「ロータリーを楽しもう」	安孫子建夫様
R I 2510地区パストガバナー 丸山 淳士様	国際ロータリー第2510地区地区研修リーダー
15:30 謝辞	パストガバナー 丸山 淳士様
R I 2510地区第1 Gガバナー補佐	国際ロータリー第2510地区
茶谷 恵一	国際奉仕委員会 委員長 松原 重俊様
15:35 ガバナー講評	国際ロータリー第2510地区
R I 2510地区ガバナー 安孫子建夫様	幹事 佐々木光治様
次年度ガバナー補佐紹介	
R I 2510地区ガバナー補佐	
茶谷 恵一	
次年度ガバナー補佐挨拶	
深川RC 村中 俊二様	

＝ガバナー挨拶＝

R I 2510地区ガバナー 安孫子建夫 様

我が地区の最北の地、第1グループの羽幌にやっしまいました。自宅を出ましたのが10時45分ですので、3時間を切る時間で着く事が出来ました。こちらの国道は取締りが厳しいと言われていましたが、本日は私が運転して来ませんでしたので安心して乗ってまいりました。本日、出発する時は大変天気良かったのですが、海に近づくにつれてガスがかかってきて天気が悪くなってきましたので、何事か起こるのかなと心配しましたが、皆様の顔を見て安心致しました。実を申しますとIMを開催していないグループがまだ何箇所かございまして、開催されてもこのように多くの会員の参加が無く、本日は大変嬉しく思います。しかも4つのクラブでこの様に大勢の会員が集まるというのは、そんなに無かったのかなと思います。当地区の茶谷さんには1年間大変お世話になっておりますが、こちらのクラブは人口7000人位の町で、40名を超える会員さんが在籍をするという、他のクラブではマネの出来ないクラブ運営をされているクラブでございます。そのグループのIMに出席すると言う事で楽しみにしておりました。

私の年度も来月1ヶ月で終わりますが、今まで何をやってたのかという話になると誠に心もとない1年であったと思いますが、とにかく71クラブをつつがなく回らせていただいた事が私にとって最大の収穫であり、色々な人々に会うことが出来て、これぞロータリーと思います。これからの人生、そんなに長くはありませんが宝となると思います。貴重な経験・体験をさせていただきました。色々な地区の方針等やロンバートの言葉を伝えながらやってきましたが、私自身あまり派手に何かをやるかと言う事はなかったものですから、かなり地味にロータリーの原点を見つめてほしいという話をし、コミュニケーションをしっかりと出来る方法を考えてほしいと言う事でお話をして参りました。お陰様で地区大会も多数の参加をいただいて、江別で開催する事がかなり心配だったのですが、盛大



に開催する事ができました。皆様方のご協力があったればこそと思っております。

ごく最近の話をいたしますと、先月4月に3700地区、韓国の地区大会に訪問させていただきました。色々ありましてもう10年にもなりません。最近の日韓関係の事もりましたが、今回訪韓させていただきました。今回のフェリーの沈没事故の事で自粛ムードでございました。何時もですと派手にガンガンとやるのですが、今回は地味に交流をして参りました。この大会で私もお話をして参りましたが、ただ地区大会を行ったり来たりするだけではなく、せっかくするのだからお互いの交流が実となるような活動を考えるべきと話をして参りました。内心はもうやめましようと言いつつ行こうと思っておりましたが、訪韓してみて、やはり国際交流というものは簡単にやる、辞めるとということではいけないなと感じて帰って参りました。今後どの様になっていくかについては後のガバナーが考えていく事になると思いますが、国際交流の大切さをしっかりと考え、ロータリーはインターナショナルだなと考えた時、交流の仕方は色々ありますのでその時々がありますが、私たちは個人と個人、クラブとクラブの付き合いをしっかりと出来るような交流の仕方をお互いに考えていかなければならないと感じて帰って参りました。

また、今週末にはシドニーでの国際大会があります。地区からは69名の参加になりました。こちらにいらっしゃる丸山パストガバナーも参加されます。実際、国際大会に行きましたと言っても、開会式か閉会式のどちらかに出て後

は観光で終わってしまうのですが、それにしてもロータリーがインターナショナルなんだなと感じる最大のイベントだと思います。

実は、松原地区国際奉仕委員長さんが来られないとのことで少しお話をいたしますが、地区やクラブで水や教育の国際奉仕をされており、以前もチェックダムや浄水器の事業も行っております。今回、私もその検証ツアーに参加をしました。以前ですと、地区やクラブでこの様な国際奉仕事業をしているという話は聞いておりましたが、あまりピンときませんでした。それとよく考えた事が、これらの事業が50万円-100万円だとすると、この検証ツアーにかかるお金をみんなで出して事業に使った方がもっと良いのではと思った事もありました。しかし実際参加して、現地の生活や子供達の様子を見ますと、色々な事が感じられます。現在経済発展が目覚しく、戒厳令が敷かれたなどとニュースになってはおりますが、まだまだとんでもない環境下で住んでいる方が沢山おられます。それをロータリーが手を差し伸べるべきかは色々な話はあるかもしれませんが、実際に助けを求める人々がそこに居るとい現状で、我々が行った事業がどの様に役に立っているかを見る事も必要だなと感じて帰って参りました。百聞は一見に如かずと言いますので、多少はお金が掛かりますが実際にそこに行って現状を見てくる、そしてそのロータリアンと話し合いを持ち、交流を進めていくと言う事も大切な事だと思いました。この先同じ様に続けていけるかは分かりませんが、やはり行ったり来たり出来る環境の中で国際交流、インターナショナルと言う事を感じながら、活動する事が大切だと思いました。

もう一点お話をさせていただきますが、昨日岩見沢クラブで60周年の記念式典がございました。この日には第5グループのIMがありました。岩見沢の方へ出席した関係でIMに出られなく大変残念に思っておりますが、地区では昨年小樽クラブが80周年を迎え、札幌クラブについてはもっと歴史があるクラブがございます。色々各クラブを訪問して感じる事は、これから

どの様にして活動していこうか、という事が深刻な問題として感じられます。今回、会員増強については色々とお願ひして参りましたが、各クラブ頑張って頂き、会員を増やされたクラブもありますし、反面会員が減少してしまったクラブもいくつかあります。現在は増えておりますが6月末に減ってしまう現象も心配になっております。しかし、ただ会員の数を維持する事が大切な訳ではなく、会員一人一人が色々な交流が出来て、ロータリーを実感して、ロータリーライクを進めていける事が基本です。尚且つ、大勢の人と知り合いになれると言う事は、やはり会員の数が減ってはなかなかそれが難しくなると言う事かなとも思います。この地区の中では100人を超えるクラブは札幌クラブ、東クラブ、それと岩見沢のように80~90人といったクラブがあります。それから下がって70~60人代のクラブがあり、その下は50人を割って40人以下のクラブが多くなりました。これは札幌でもしかりで、大きいクラブと小さいクラブの格差が出てきています。各クラブを訪問して話を聞いてみますと、それぞれ20人規模でやっているクラブで、会員増強は大変ですと話されます。札幌みたいな街でさえ大変だと話されますので、大きなクラブ・小さなクラブで調整と言っては変ですが、話し合って増強を考える事が必要かなと感じております。

これからロータリーもまだまだ色々な課題が生じてくると思いますけど、次年度羽生年度は、ライトアップロータリーと言っていますので、輝ける年になってほしいと期待しております。本日はIMの開催おめでとうございます。

